



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

○すすんで学習する子（知） ○思いやりのある子（徳） ○たくましい子（体）

第10号 令和2年6月10日発行

今年度の学校評議員の皆様です

今年度の学校評議員の皆様は次のとおりです。

齋藤	範一	様	（元小原田自治連合会会長・元PTA会長）
大原	正勝	様	（明るいまちづくり推進委員長）
菅野	正男	様	（交通安全協会小原田支部長）
国分	節子	様	（民生委員 交通安全母の会会長）
勝又	房男	様	（小原田公民館長）
中野	光一	様	（小原田幼稚園長）
木村	隆	様	（あけぼの幼稚園長）
古川	順一	様	（同窓会会長）
瀧田	勉	様	（同窓会副会長 地域コーディネーター）
伊藤	真大	様	（小原田小学校PTA会長）

よりよい子どもたちの成長のために、学校の教育活動についてご意見をいただきます。よろしく願いいたします。

「言葉は心を繋ぐ」～挨拶から始めよう



「おはようございます。」朝、交通指導で聞く子どもたちの挨拶。教師や朝の登校を見守ってくださる保護者の皆様、交通安全協会の皆様等に子どもたちは挨拶をしています。先頭を歩く班長さんの声、その後に続く1年生たち下級生の声。元気な挨拶の声を聞くととてもさわやかな気持ちになります。

挨拶は、人と人とのコミュニケーションにおいてとても大切です。その人の第一印象を決める一つにもなります。自分の気持ちや考えを伝える大切な手段の一つが、言葉です。自分の言葉で相手に分かりやすく伝える、それは「言葉は心を繋ぐ」ことになります。ですから、語彙を増やすことや言葉で伝え合うことは、子どもたちの成長に欠かせないものだと思います。その第一歩が、「挨拶」です。「自分から」「相手を見て」「聞こえるように」挨拶することを今後も指導していきたいと思っています。家庭でも話題にしていいただければと思います。



交通事故に注意

郡山市において、先月、児童生徒の自転車走行中における交通事故が5件発生しました。そのうち、重傷事故が1件です。5件のうち、飛び出しが3件、スピードの出しすぎ（自損）が1件そして前方不注意が1件でした。つきしては、次のことを意識させることで交通事故に遭わないようにさせたいと思います。

- 飛び出しの絶無に向け、道路を横断する際には一時停止をし、左右の安全確認を十分に行ってから横断する。（「止まる、見る、待つ」の合言葉で意識させる。）
- 自転車乗車時は、ヘルメットを着用し、交差点等においては十分な安全確認を行うこと、また、スピードを出し過ぎないようにする。

